

も亦二度までも負傷した程の苦戦をなし、法師は之れに反しカーブール川の南岸に沼うて、曾てエフェステイオン Hephestion の軍隊が通過した便利な道を靜かに辿つたものであるが、インダス河がオンド Ond (Ondabhāṅḍa) を通過する處、近頃マーシャル卿 Sir John Marshall が同一證據物を三つまで發掘して其の所在を示したタクシラ Taxila の中で、兩者の徑路は更に又相會してゐる。

ナガラハーラー——今日、立拏法師の通つた跡を明かにし易い處があると思れば、それは確にヂェララバードの美しい平原である。丁度カピシヤ平原のやうに見事な山を繞らし、人家のある處(従つて考古學者の仕事場と言ふべき處はカピシヤの方よりも遙に狭い範圍を占め、支那から來た著名な巡拜者は皆之れに關する記述を残し、マツソンも精密な探險をして Ariana antiqua 中に地圖一葉を添へた相當完全な目錄を發表してある程で、其の後英國遠征隊も永らく駐屯した處である。さういふ譯であるから、神聖な地域の識別に就ても、完結したとは言へないにしても、重要な點は大體片付いたと考へてよい